

令和元年度 中津高校芸術鑑賞

令和元年10月10日(木)13時から、本校体育館において芸術鑑賞会を開催しました。例年は中津川文化会館で実施していますが、今年は文化会館が改修中で使用できないため体育館での開催となりました。今年度は、「劇団あおきりみかん」による『僕の教室』が上演されました。

この演劇は、友情・生と死・一期一会といったメッセージ性に富みながら重くならず、笑いあり涙ありの楽しい作品でした。また、体育館での上演で、客席の生徒との距離が短い上に、三年生の生徒3名がキャストとして出演する生徒参加型という試みも、全校生徒を引きつけ楽しませるものとなりました。





全校を代表し、生徒会から劇団に花束とお土産を渡しました。

◎生徒の感想より

「感想1」

今日の劇は、生徒を劇に登場させるなど、わくわくさせることがあって、最初から最後までずっと楽しいと思えました。靈感が強い子に思いを伝えてもらうために大きい声でやりとりするときも、その設定も面白いと思ったし、出演者の方も本当にガチで叫んでいて、見ている私たちもすごく気持ちが熱くなりました。机の上に登っていないといけないとか教室に入ったときにしてはいけないルールなどの理由もすごく納得できて面白かった。

案内者さんのツッコミや少年のものまねなど、たくさん笑えるポイントがあって新喜劇を見ているような感じでした。主人公の男の子は、クラスの子にいろいろ言われていたけど結局とても愛されていて、いい話だと思いました。

「感想2」

すごく面白かったし、感動もしたし、心に響くところもあって、いい劇だったなと思いました。中津高生が実際に劇に入って演じていて面白かったし、楽しかった。楽しいところ、悲しいところとかの演技がとても上手く、本物のプロの人の演劇をあんなに近くで見られるということもあまりないことだと思うので、貴重な体験ができてよかったです。

人はいつ死ぬか分からないから、今を大切に生きようと思ったし、友達に気持ちを伝えようということが心に響いて、私も伝えられたらいいなと思いました。死に神役の人がとても面白くて、たくさん笑って楽しかったです。最初に教室の準備をするときに、流れがスムーズで音楽に合わせてやっていたのが、さすがプロの人だなと思いました。

「感想3」

とてもメッセージ性があり、かつ面白い劇でとてもよい時間になりました。私は普段、演劇を見る機会が無く、自分から興味を持つこともありませんでした。でも今回、みなさんの演劇を見て、命の大切さであったり、思いを言葉にする大切さであったり、たくさんのことを学ばせていただきました。

また今回、生徒も参加するというので、「どうなるのかな」とワクワクしたし、同級生ががんばっている姿を見て、「すごいな」と思いました。

私は普段、なかなか思っていることを言葉にできず、そこが自分の短所だと思っています。今回、演劇を見て、思いを言葉にして伝えることの大切さを知りました。また、人との出会いも自分にとってとてもよいものになると実感しました。今、自分の周りにいる人と出会えたことに感謝し、また、これからの出会いを楽しみにしながら、生きていきたいと思いました。